

第8章 港湾・空港

第1節 港湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾が本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は県内の物流の拠点港として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を、船川港は男鹿地域の物流港としての整備を、能代港は県北地域の物流港としての整備を進めています。

地方港湾の本荘港は海洋性レクリエーション基地としての機能拡充を、また戸賀港では「ふるさと海岸整備事業」を推進しています。

◆秋田県港湾図



◆入港船舶及び海上出入貨物（平成8年）

(単位：隻・総トン・トン)

		入港船舶		海上出入貨物		
		隻数	総トン数	合計	出貨	入貨
甲種	秋田港	2,878	7,033,344	6,616,490	545,585	6,070,905
	船川港	1,115	725,683	1,038,023	433,385	604,638
	能代港	286	1,886,649	2,522,580	22,932	2,499,648
乙種	本荘港	3,540	16,208	1,003		1,003
	戸賀港	6,130	51,351	423		423
計		13,949	9,713,235	10,178,519	1,001,902	9,176,617

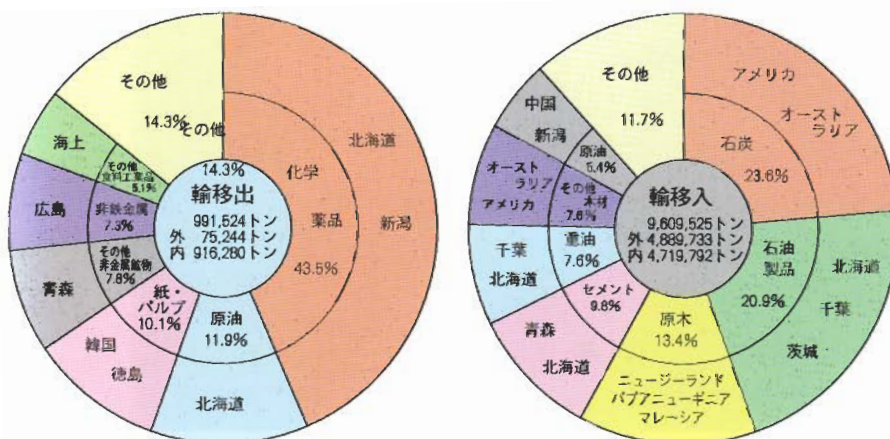
◆入港船舶トン数別比較（平成8年）

県内全港

	隻数		総トン数	
10,000総トン以上	1.4	195	50.2	4,878,566
6,000総トン以上	0.1	21	1.6	150,829
3,000総トン以上	3.8	524	22.3	2,170,748
1,000総トン以上	4.5	628	14.8	1,437,177
500総トン以上	4.9	686	5.8	558,934
100総トン以上	8.0	1,119	4.3	414,630
5総トン以上	77.3	10,776	1.0	102,351
合計	100.0%	13,949	100.0%	9,713,235

◆出入貨物別物品種別比較（平成8年）

県内全港

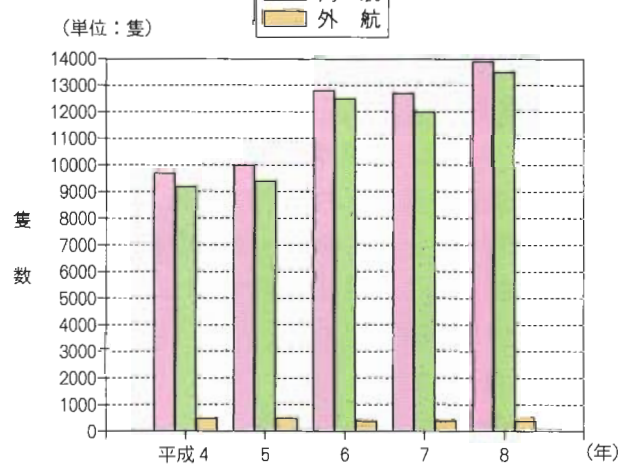
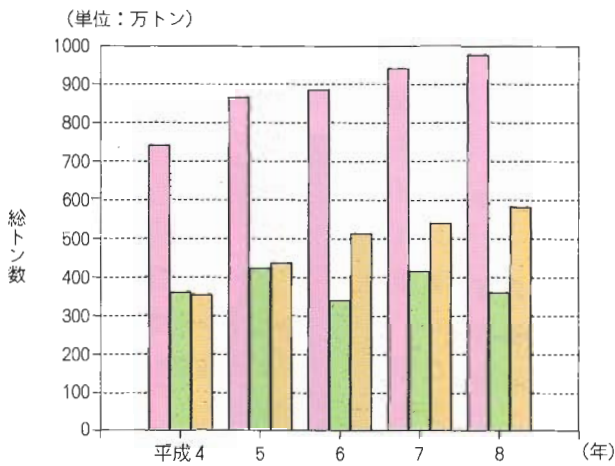


◆外貿コンテナ貨物取扱個数（平成7年11月航路開設）

	輸入	輸出	計
平成7年	140	206	346
8	4,936	1,775	6,711

20フィートコンテナ換算

◆入港船舶のうごき
県内全港



2 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋田港]

- ① 県内の物流の拠点として、また、外国貿易の拠点として物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を進めます。
- ② 豊かで潤いのある港湾環境の形成を図ります。
- ③ 新たな工業用地及びふ頭用地等の基盤施設の整備を進めます。
- ④ 海洋性レクリエーション基地としてマリーナ等の整備を進めます。

「平成9年度主要事業」

防波堤、岸壁(-7.5~-12.0m)、航路・泊地(-4.5~-13.0m)、緑地及びコンテナ施設(ガントリークレーン)等の整備を進めます。



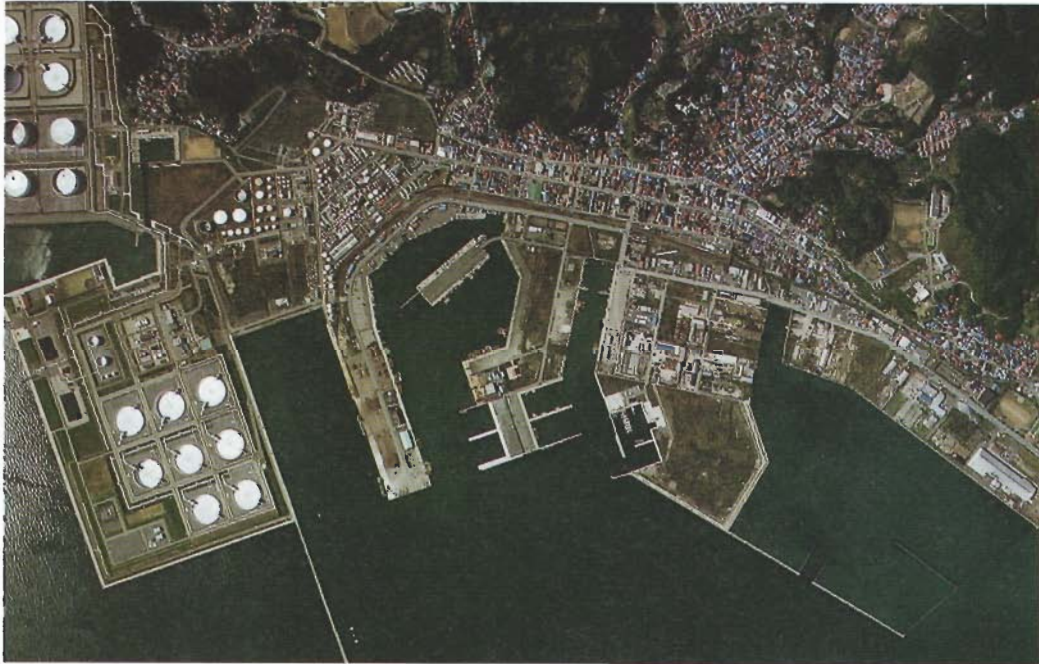
秋田港全景

[船 川 港]

- ① 地域振興のための小型船だまりの整備を進めます。
- ② 海洋性レクリエーション基地としてマリーナ、緑地等の整備を進めます。

「平成9年度主要事業」

防波堤、物揚場(-3m)、緑地等の整備を進めます。



船川港全景

[能 代 港]

- ① 県北地域の物流基地として、防波堤、大型岸壁等の整備を進めます。
- ② 港湾環境施設として緑地の整備を進めます。

「平成9年度主要事業」

防波堤(改良)、岸壁(-13m)、物揚場(-2m)、緑地等の整備を進めます。



能代港全景

[本 莊 港]

海洋性レクリエーション基地としての充実を図るため外部施設及び港湾環境の整備を進めます。

「平成9年度主要事業」

防波堤(沖)、緑地等の整備を進めます。



本莊港全景

[戸 賀 港]

港の機能強化のための道路改良等を進めます。



戸賀港全景

3 海岸事業

運輸省所管の県内海岸延長は約46.5Kmであり、うち約26.5kmが、津波、高潮、波浪などの被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の季節風浪から県土を保全する海岸侵食対策や快適で魅力ある海岸空間を創出する海岸環境整備等の事業を推進します。

(1) 海岸環境整備

海浜における日常レクリエーションの需要に対応し、快適で魅力ある施設の整備を進めるため、秋田港飯島地区のマリーナ北側海岸の施設整備、能代港落合地区において離岸堤(潜堤)・(改良)の整備を推進します。

本荘港田尻地区において、訪れる人が憩いの場として利用できるよう突堤等の海岸施設の改良を進めます。

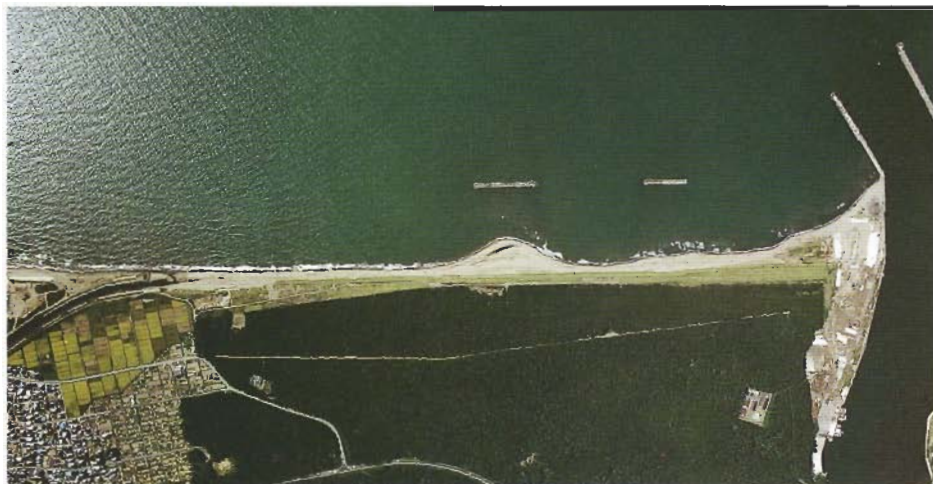


本荘港海水浴場

(2) 海岸侵食

地域住民が海辺とふれあえ、安全で景観に優れた海岸空間の創出を図るため、戸賀港戸賀地区で、「ふるさと海岸整備事業」により、多面的な機能をもった階段式護岸の整備を進めます。

また、秋田港向浜地区、本荘港水林地区で海岸汀線の侵食の防止をするため、離岸堤を整備します。



本荘港水林地区離岸堤

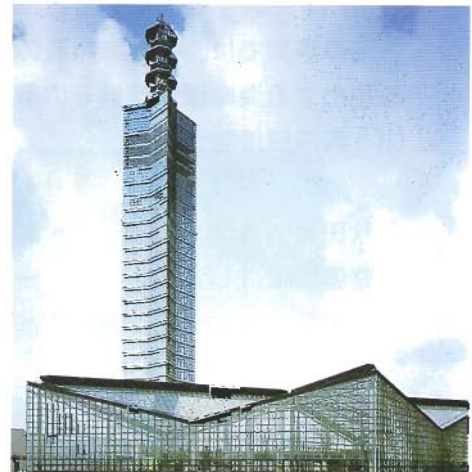
4 主要プロジェクト概要

[秋田港ポータルナッセランス21事業]

秋田港の港湾機能を多角的に活用するため、民間事業（第三セクター）を導入しながら、豊かな港湾空間の形成と地域活性化の核としての整備を進めます。

《事業計画の概要》

- ① 事業期間 昭和63年度～平成12年度
- ② 施設整備計画
 - 1) 公共整備施設
 - イ 臨港道路及び緑地等の基盤施設の整備を進めている。
 - ロ 民間施設と一体的に活用でき、冬でも緑豊かで潤いのある施設として、平成6年度に完成した覆い付き緑地「セリオン リスタ」内部の緑量アップを図る。
 - 2) 第三セクター整備施設
 - イ 本事業のシンボルとして「ポートタワー・海の展示館」（愛称「セリオン」：シーパビリオンの略）、平成6年4月8日オープン。（展望室床高100m）
 - ロ コンベンションセンター、ポートセンター、港湾複合機能ビル等を今後整備する。
 - 3) 民間整備施設 ホテル、商業施設、旅客駅等の立地に努める。
- ③ 想定事業費310億円



ポートタワーと覆い付き緑地



覆い付き緑地「セリオン リスタ」内部

[秋田港飯島地区公有水面埋立事業]

飯島地区公有水面を埋立て、大王製紙（株）を誘致するための工業用地の造成とともに、将来を展望した岸壁や公共埠頭用地の整備を一体的に推進する事業です。

《事業概要》

- ① 埋立面積
全体計画面積48.0haで、工業用地40.4ha（工場用地32.9ha、産業廃棄物処分場7.5ha）及び公共用地7.6haを造成する。
- ② 施設整備計画
公共施設として、（-11m）岸壁1バース・（-7.5m）岸壁2バース及び造成地に道路・緑地を整備する。
- ③ 平成9年度事業
平成8年度に引き続き、埋立工事と並行して岸壁等の整備を進める。
- ④ 工場操業開始予定
平成10年度から工場建設に着手し、平成12年7月に操業を開始する予定です。



秋田港飯島地区全景

第2節 空 港

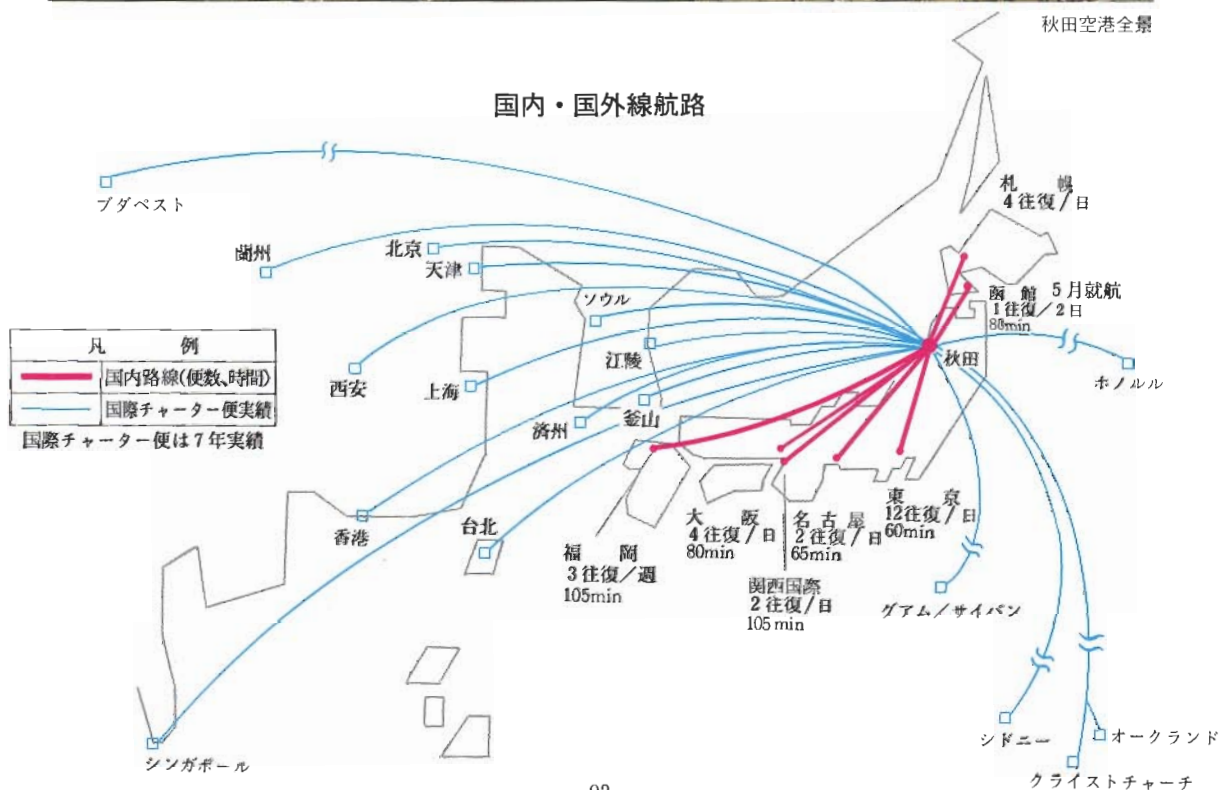
1 秋田空港の概要

本空港は、県都秋田市の南東25kmに位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置（ILS）などの新鋭設備を備えています。空港を取り巻く環境は、600haの広大な県立公園として緑豊かな都市公園型空港となっています。

就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、関西国際、福岡、函館の7路線で、1日12便のほか、週3便（福岡線）、偶数日1便（函館便）の往復運航がされています。利用客数は順調に伸び、開港以来の利用客数が平成5年6月15日には1千万人を突破するなど、着実に県民の足として定着しています。さらに本年5月からは、函館便が復活し、益々利用の増加が見込まれます。また最近では国際定期便の乗り入れを目指す動きも活発化しています。



秋田空港全景

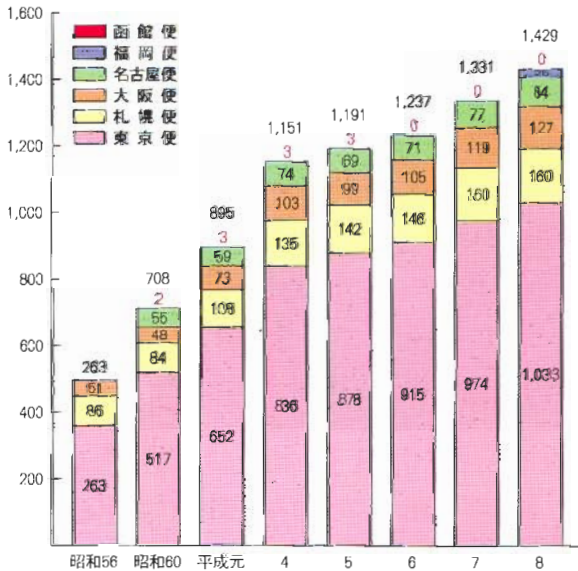


◆空港施設の概要

設置者	運輸大臣	場周道路	長/6,455m 巾/5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	25,967㎡ (787台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県河辺郡雄和町椿川	無線施設	ILS (計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 39° 36' 46"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経140° 13' 19"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	93.0m	通信施設	一式
空港の種別	第2種B級	気象施設	一式 (風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900㎡ (告示面積)	消防施設	40t水槽8基 (化学消防車1台)
着陸帯	長/2,620m 巾/300m	除雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長/2,500m 巾/60m	ターミナルビル	国内線棟3階建(11,005㎡)国際線棟(一部3階建3,471㎡)
誘導路	長/2,900m 巾/30m	貨物ビル	2棟
エプロン	長/310m 巾/190m (5バース)	給油施設	200kl/2基
排水施設	一式		

◆秋田空港定期便利用実績

(単位:千人)



◆秋田空港からの国際チャーター便の実績

単位:回

	56~3年	4年	5年	6年	7年	8年	合計
韓国	28	23	13	20	44	27	155
中国	20	2	3	5	3	4	37
台湾	7	2	2	2		2	15
香港	39	5	2	5	10	11	72
シンガポール	8	4	4	2	3	-	21
ハワイ	17	1	2	1	2	7	30
グアム	16	0	3	2	9	9	39
サイパン	16	0	3	2	9	9	39
その他	11	7	3	7	6	2	36
合計	146	44	32	44	77	62	405

◆貨物取扱実績

(単位:トン)

	56年	60年	元年	4年	5年	6年	7年	8年
貨物	国内線	1,063	2,771	3,973	4,693	4,895	5,033	6,162
	国際線							
計	1,063	2,771	3,973	4,693	4,895	5,033	6,162	
郵便	国内線	210	1,003	2,675	3,454	2,295	2,184	2,440
	計	210	1,003	2,675	3,454	2,295	2,184	2,440
合計	1,273	3,774	6,648	7,147	7,190	7,217	8,567	
指数	100	296	522	561	565	567	673	

2 大館能代空港

(1) 空港整備計画の概要

- ・ 空港種別 第三種空港（県設置・管理）
- ・ 建設地 鷹巣町大野台中屋敷付近（脇神）
- ・ 標高 84.0m
- ・ 滑走路方位 N80° W
- ・ 面積 空港本体用地面積 123.0ha
- ・ 工事概要 用地造成（土工事） 切土 720万 m^3 盛土 720万 m^3
滑走路長 2,000m 巾 45m 舗装面積 約140,000 m^2
誘導路長 230m 巾 30m 舗装面積 約 13,000 m^2
エプロン 中型ジェット3バース 小型ジェット1バース 舗装面積 約25,000 m^2
駐車場 台数386台 面積 約14,000 m^2
ターミナルビル用地面積 約 8,700 m^2
ターミナル地区面積 約 52,000 m^2
- ・ 総事業費 約355億円
- ・ 開港予定 平成10年7月

(2) 空港本体事業のスケジュール

- | | |
|------|---|
| 平成6年 | 空港用地買収、補償工事（付替道路）、用地造成工事（試験盛土）、防災調節池工事 |
| 7年 | 補償工事（付替道路）完成、用地造成工事、防災調節池工事完成 |
| 8年 | 用地造成工事、滑走路・誘導路・エプロン新設工事、照明施設工事
庁舎建築・無線施設工事（直轄） |
| 9年 | 滑走路・誘導路・エプロン新設工事、照明施設工事、庁舎建築・無線施設工事（直轄）
気象施設工事（直轄）、諸手続準備（フライトチェック、完成検査等） |
| 10年 | 供用開始諸手続、開港準備、開港 |

完成予想図



(3) 周辺整備事業（緩衝緑地）

1) 事業内容

空港の緩衝地帯として設定された自然と緑に富んだ土地を活用し、多目的スポーツコース、展望台等地元住民に利活用される施設整備を行います。

2) スケジュール

平成6年度	用地取得 176ha
平成7年度	基本設計
平成8年度	実施設計、前庭、センターハウス用地造成他
平成9年度	前庭施設整備、センターハウス、ステージ建築、多目的スポーツコース造成 路盤工、展望園地造成
平成10年度	センターゾーン芝生広場、駐車場、多目的スポーツコース舗装、展望園地設備



平成8年12月15日現在